

謹賀新年



「『物語』のある まちづくり」

大和郡山市長

上田 清

遠く古代から本市はさまざまな『物語』に彩られてきましたが、昨年の1月にオープンした『町家物語館』は大変好評で、1万6千人を越える方々にご来館いただきました（昨年11月末現在）。

大正13年（1924）年に完成したこの町家建築は、当時としては珍しい木造3階建ての建物で、昭和33（1958）年まで遊郭として使われ、現在は市が保有、登録有形文化財に指定されています。

この建物の利活用については課題もありました。しかし、若者が中心となって展覧会や落語会、演劇などが行われるようになり、これを受けて耐震化工事に着手。一般公開に踏み切るとともに、辛いことも悲しいことも含め受け止めていこうという思いから『町家物語館』と命名されました。

驚いたのは、これまでの来館者の75%以上が市外・県外からお越しいただいた方々ということで、城下町の魅力発信基地としての役割が今後、ますます期待されます。この1月には開館1周年記念事業『町家と本と森のねんど』が開催されますので、どうぞお出かけください。

一方、交流や防災とともに、物語や魅力発信の拠点でもある新庁舎の建設についてはさまざまな意見やアイデアに耳を傾けながら、実施設計に向けて準備を進めているところですが、そのほか、近鉄郡山駅周辺のまちづくりや郡山城跡の整備、新たな地域福祉計画の策定、小学校における空調設備とそれにとりまう改修やトイレ改修などなど職員ともども『平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。』を合い言葉に頑張っていますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって良き年でありますように。



「翔け！郡山 新年を迎えて」

大和郡山市議会議員

堀田 直彦

新年あけましておめでとうございます。

市議会を代表いたしまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、輝かしい新年を迎え、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年はいよいよ「平成」に代わり新しい元号が始まります。「平成」の間、大きな災害が発生するなど、決して明るいニュースばかりではありませんでしたが、どんな困難な状況においても前に進む人の意志の強さや、人の絆のあたたかさなど、大切なことを学ばせていただきました。

さて、市議会におきましては、昨年12月、議会改革特別委員会において、議論を尽くして参りました議会基本条例が制定されるとともに、本会議、委員会をインターネットにより、ライブでも録画でもご覧いただけるようになるなど、開かれた議会へ、さらに一歩踏み出しました。また、まちの拠点となる新庁舎の建設にあたっては、現在の敷地において、地上5階地下1階の規模の市民の皆様がご利用いただきやすい新庁舎となるよう、新庁舎建設特別委員会で、審査をすすめております。

また、昨年は市内中学校全教室にエアコンが設置されました。議会においても決議を行い、実現にいたったわけですが、昨年夏の猛暑を受け、いち早く小学校へのエアコン設置も決議をいたしました。早期の設置に向けて市当局とともに取り組んで参ります。

今後も、市民の皆様の意見に、真摯に耳を傾け、それを市政に反映し、明るく、安全で、安心に暮らしていただけるよう、努力をしていく所存であります。引き続き皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様におかれましては、新しいこの一年が、幸多き年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。